

埼玉県上尾市立東中学校 文部科学省指定 研究開発学校 「グローバルシティズンシップ科」

持続可能な社会の担い手を育むため、生徒一人ひとりの社会参画意識の向上とグローバルシティズンとしての資質・能力の育成を図る

目的 ① 18歳選挙権に向けて社会参加意識の向上 ② 持続可能な社会づくりの担い手を育成 ③ 多様な他者と協働できる力を身に付ける

目指す生徒像

1. 自らの考えや根拠のある意見を持って社会に「参加」できる生徒
2. 多様な文化、習慣、考え方を尊重し、共に生きることができる生徒
3. 自ら課題を見つけ、物事を多面的に考えられる生徒
4. クリティカルな思考を身に付け、自ら進んで調査し、発進することのできる生徒
5. 一人の市民として、より良い社会づくりに協同して参加できる生徒

配当時間：年間35時間(週1時間) 毎週金曜6限をグローバルシティズンシップ科とする

学習形態：教師を「ファシリテーター」とした参加型学習

評価：学習した内容を踏まえ、ワークシート等やグループ活動のまとめから

ポートフォリオ評価を行い、文章記述で行う

教員研修の充実

「ファシリテーター」としての教師の育成

学習者(生徒)の意見を引き出し、つなげ、深め、共に考えるファシリテーターを育成する

ブレ授業の実施

参加型学習の手法を知り、学習者(生徒)主体の授業をつくる

研究機関との連携

大学をはじめとする研究機関との連携を図り、シティズンシップ教育、開発教育に関する調査・研究を行う

NGOとの連携

国際協力NGOとの連携を図り開発の現場の声を学校教育に取り入れる

外部機関との連携

学習内容の工夫

グローバルな課題

貧困、開発、環境など地球規模課題を扱い世界の課題を自らの課題として共に考える姿勢を育む

ローカルな課題

学校づくり、まちづくりといった足もとの課題を取り入れ、社会参加意識を向上させる

海外との交流

ガーナ サベルク中学校との文通交流を実施。英語で手紙を書き、ガーナに友達をつくる

課題作文・エッセイ出品

JICA・WFP等のエッセイコンテストに応募し、日頃の学びを発信する場をつくる

発信の場づくり

学習の3ステップ

知る

考える

行動する